

科目名	社会学概論	
担当者	河原 晶子 / KAWAHARA, Akiko	
科目情報	心理臨床<関連> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	社会学は、普段は意識しない「日常性」の中に、人と人のつながり、個人と社会の関係、社会秩序など人間社会を形づくっているものを探る学問である。講義では、医療・福祉・教育など人と人が関わりあう活動領域で有効かつ必要な、社会学的なものの方を取り上げ、考えてもらう。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的なことと社会の結びつきを認識できること。 ・「日常生活の自明性」を再考する発想ができること。 ・前近代から近・現代社会への変化の趨勢を理解すること。 ・数値データを読み取り、その背後にある社会事象を推測し、それを適切に、説得力をもって言語表現できること。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> (1) イントロダクションー社会学への招待 (2) 社会現象としての「わたし」現象 (3) 自己理解・他者理解としての「役割」現象 (4) 集団一人と人のつながりの多層性 (5) 近現代社会における集団と個人 (6) 高度発達した官僚制組織と脱官僚制化の動向 (7) 官僚制的組織に生きるということ (8) 現代社会における職業労働の特質ー職業社会学1 (9) 職業の多様性・働き方の多様性ー職業社会学2 (10) 現代社会の特徴的職業：ヒューマンサービス職ー職業社会学3 (11) 社会の変化と連動する家族の変化ー家族社会学1 (12) 多様化する家族の意識、家族のかたちー家族社会学2 (13) 見えない[社会]を見るための技法ー社会調査とワークショップ (14) 何が「社会」を秩序立てているか (15) 総まとめ 	
自学自習	事前学習	意味の分からない用語、指示する用語は事前に調べておくこと。
	事後学習	毎回、授業冒頭に前回授業の復習小クイズを行うので、よく復習しておくこと。
使用教材・参考文献	<p>【参】野村一夫『社会学の作法・初級編』文化書房博文社、1999年 飯田哲也編『基礎社会学講義』学文社、2002年 長谷川公一他編『社会学』有斐閣、2007年</p>	
成績評価方法と基準	<方法> 定期筆記試験80%/課題小レポート10%/ワークシート10% <基準> 科目の到達目標を重視する。到達していない者は不合格となる。	
備考	講義だけでなく、ワークショップや課題小レポートを組んでいることを熟知しておいて欲しい。	